

浜の活力再生プラン

1 地域水産業再生委員会

組織名	苓北地区地域水産業再生委員会
代表者	会長 松野重幸

再生委員会の構成員	天草漁業協同組合苓北支所 苓北町農林水産課 熊本県天草広域本部水産課
オブザーバー	苓北町商工会

*再生委員会規約及び推進体制の分る資料を添付すること。

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	対象地域 熊本県天草郡苓北町 対象漁業者 234 名（延べ 295 名） 潜水漁業 33 名、アオサ養殖漁業 4 名、緋扇貝・岩カキ養殖漁業 2 名、一本釣り漁業 180 名、えびこぎ網漁業 20 名、定置漁業 6 名、刺網漁業 50 名
-------------------	---

*策定時点で対象となる漁業者数も記載。人数で重複者もいる。

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

苓北町は、熊本県天草諸島の天草下島の北西端に位置し、西は天草灘、北は千千石灘に面した美しい海に囲まれた町で、澄んだ空、青い海、そして水平線にゆったりと沈んでいく夕日、限りなくやさしい自然の抱擁の中で、ゆるやかに時が流れており、これまで、町の自然・文化を大切にしながら、町づくりが進められている。また、平成 7 年には苓北火力発電所が運用を開始し、町の経済活性化に役立っている。

地域の漁業は、一本釣り、刺網、潜水、えびこぎ網等の漁船漁業と、ヒオウギや岩ガキの貝類養殖業、アオサの海藻養殖業などが営まれており、漁業者が所属する天草漁協苓北支所は荷捌き場を有していて、地元の商店へ新鮮な鮮魚を供給するとともに高級魚などは熊本市場や関東・関西・福岡へ出荷しており、平成 25 年度の水揚げ量は約 197 トン、水揚げ金額は約 2 億 1 千 5 百万円となっている。

近年は、緋扇貝、生うに、岩カキの 3 種について「天草苓北旬グルメ」として商工会も PR に特に力を入れている他、アオサ養殖が好調であり、新たに就業した者もいるなど今後が期待されている。

昔からこの海域はトサカ・ヒジキ・テングサ・アオサなど多くの海藻が豊富であり、この豊かな海藻を食べて育ったムラサキウニやアカウニは高い評価を受けており、町の特産

品としてPRや宅配事業を推進してきた。

しかしながら、近年は海藻が著しく減少しており、藻場の保全や増殖に取り組んでいるものの、以前のような海藻が豊かな海にはほど遠く、さらなる藻場再生への取組みが必要とされている。

さらに、地域の漁業の中で生産量・生産額ともに比重が大きい磯建網、えびこぎ網、一本釣りは、他の漁業と比べて平均年齢が高く、水揚げも年々減少して経営が非常に厳しい状況にあり、深刻な後継者不足や所得向上への取組みが特に急務とされている。

(2) その他の関連する現状等

燃油や漁業資材の高騰によるコスト増大に加え、魚価の低迷や水揚げの減少などもあり、漁家経営は悪化し、漁業の廃業や漁業以外の兼業が増えている状況である。

平成7年からは「天草天領あじ」のブランド化を進め、良い成果を上げていたが、ここ5年間は少しずつ水揚げが減少し、現在は水揚げがゼロに等しい状態である。減少した原因として温暖化やまき網による乱獲、藻場の減少などが考えられるが不明である。

3 活性化の取組方針

(1) 基本方針

1 漁場生産力の向上

- ・海藻類の増殖及び資源管理に努め、かつての海藻の豊富な海を取り戻す。
- ・種苗放流による水産資源を維持、強化する。
- ・漁業種類毎に禁漁期を設け、漁獲努力量を適正管理する。

2 流通体制の改善、水産物の高付加価値化

- ・品質管理を徹底してブランド力を強化する。
- ・ウニを始めとした魚介類資源を活用した新商品を開発し、宅配事業・直販事業・インターネット通販による販売を推進し、魚価の向上を図る。

3 漁業コストの削減

- ・省燃油活動を推進する。

(2) 漁獲努力の削減・維持及びその効果に関する担保処置

熊本県漁業調整規則、日本海・九州西広域漁業調整委員会指示及び天草不知火海区漁業調整委員会指示が定める採捕制限を遵守し、資源保護及び漁獲量の適正管理に努める。

(3) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

1 年目（平成27年度）

漁業収入向上のための取組	以下の取組により漁業収入を基準年から1%向上させる。 1 藻場再生、資源管理対策
--------------	---

	<p>① 漁協及び潜水組合は、ミルやトサカ等の海藻をスポアバック法により育成し、ウニ等の餌にもなる藻場の約 1,000 m²の造成に努める。</p> <p>② 漁協及び潜水組合は、アカウニ種苗 3 万 6 千個を放流し、併せて産卵期に禁漁期間を設定し、アカウニ資源の増加を図る。</p> <p>③ 漁協及びえびこぎ網漁業者は、クルマエビ種苗 8 万尾を放流し、クルマエビ資源の増加を図る。</p> <p>④ 全刺網漁業者は、自主的に漁具の網目を 10.6 mm 以上にして、小型魚の保護を行い資源の増加を図る。</p> <p>2 魚価向上対策</p> <p>① 漁協及び漁業者は、ウニ・緋扇貝・岩カキ・アオサ等について、殺菌海水による浄化や異物除去等の衛生管理を徹底して品質向上に努め、ブランド力強化及び魚価向上を図る。</p> <p>② 漁協は、地元商店と連携して、安く販売している小魚を利用したすり身商品の開発を行う。</p> <p>③ 漁協及び一本釣組合は、ブランドアジ「天草天領あじ」の取組みで全国漁業者交流大会において農林水産大臣賞を受賞した実績があり、そのノウハウを活かして、チコダイ、紋甲イカ、ウニ等の魚種についても品質管理等を徹底し、「天草天領」ブランドとして魚価を向上させるため、魚種の選定と品質管理手法のルール化に取り組む。</p> <p>3 所得向上対策</p> <p>① アオサ及び岩ガキ養殖業者は、先進地視察等を行い品質や生産性を向上させる。</p> <p>② 漁協は、現在行っている通信販売や富岡港の直販所での販売を強化し、さらにインターネット通販による販売を推進する。</p>
<p>漁業コスト削減の為の取組</p>	<p>以下の取組により漁業コストを基準年から 1%削減させる。</p> <p>① 燃油の急騰による漁業コストの圧迫に備えるため、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。</p> <p>② 漁業者全員が定期的に船底清掃を行い、燃料消費を節減する。</p> <p>③ 水揚中などの船舶係留中は機関を停止し、燃油消費を抑える。</p>
<p>活用する支援処置等</p>	<p>漁業経営セーフティネット構築事業、水産多面的機能発揮対策事業 産地水産業強化支援事業</p>

2 年目（平成 28 年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>以下の取組により漁業収入を基準年から 2%向上させる。</p> <p>1 藻場再生、資源管理対策</p> <p>① 漁協及び潜水組合は、ミルやトサカ等の海藻をスポアバック法によ</p>
---------------------	---

	<p>り育成し、ウニ等の餌にもなる藻場の約 1,000 m²の造成に努める。</p> <p>②漁協及び潜水組合は、アカウニ種苗 5 万個を放流し、併せて産卵期に禁漁期間を設定し、アカウニ資源の増加を図る。</p> <p>③漁協及びえびこぎ網漁業者は、クルマエビ種苗 10 万尾を放流し、クルマエビ資源の増加を図る。</p> <p>④全刺網漁業者は、自主的に漁具の網目を 10.6 mm 以上にして、小型魚の保護を行い資源の増加を図る。</p> <p>2 魚価向上対策</p> <p>①漁協及び漁業者は、ウニ・緋扇貝・岩カキ・アオサ等について、殺菌海水による浄化や異物除去等の衛生管理を徹底して、ブランド力強化及び魚価向上を図る。</p> <p>②漁協は、地元商店と連携して、安く販売している小魚を利用したすり身商品の開発、試験販売を行う。</p> <p>③漁協及び一本釣組合は、ブランドアジ「天草天領あじ」の取組みで全国漁業者交流大会において農林水産大臣賞を受賞した実績があり、そのノウハウを活かして「天草天領」ブランドとして魚価を向上させるため、選定した魚種毎にルール化した品質管理手法を徹底させる。</p> <p>④漁協は、イスズミやモチウオ等の未利用魚を使用した加工品を試作する。</p> <p>3 所得向上対策</p> <p>①アオサ及び岩ガキ養殖業者は、先進地視察等を行い品質や生産性を向上させる。</p> <p>②漁協は、現在行っている通信販売や富岡港の直販所での販売を強化し、さらにインターネット通販による販売を推進する。</p>
<p>漁業コスト削減の為の取組</p>	<p>以下の取組により漁業コストを基準年から 2%削減させる。</p> <p>①燃油の急騰による漁業コストの圧迫に備えるため、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。</p> <p>②漁業者全員が定期的に船底清掃を行い、燃料消費を節減する。</p> <p>③水揚中などの船舶係留中は機関を停止し、燃油消費を抑える。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>漁業経営セーフティネット構築事業、水産多面的機能発揮対策事業 産地水産業強化支援事業</p>

3 年目（平成 29 年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>以下の取組により漁業収入を基準年から 3%向上させる。</p> <p>1 藻場再生、資源管理対策</p>
---------------------	---

	<p>①漁協及び潜水組合は、ミルやトサカ等の海藻をスポアバック法により育成し、ウニ等の餌にもなる藻場の約 1,000 m²の造成に努める。</p> <p>②漁協及び潜水組合は、アカウニ種苗 5 万個を放流し、併せて産卵期に禁漁期間を設定し、アカウニ資源の増加を図る。</p> <p>③漁協及びえびこぎ網漁業者は、クルマエビ種苗 10 万尾を放流し、クルマエビ資源の増加を図る。</p> <p>④全刺網漁業者は、自主的に漁具の網目を 10.6 mm 以上にして、小型魚の保護を行い資源の増加を図る。</p> <p>2 魚価向上対策</p> <p>①漁協及び漁業者は、ウニ・緋扇貝・岩カキ・アオサ等について、殺菌海水による浄化や異物除去等の衛生管理を徹底して、ブランド力強化及び魚価向上を図る。</p> <p>②漁協は、地元商店と連携して、安く販売している小魚を利用したすり身商品の試験販売を行い、消費者からの意見をフィードバックして、より良い商品を開発する。</p> <p>③漁協及び一本釣組合は、ブランドアジ「天草天領あじ」の取組みで全国漁業者交流大会において農林水産大臣賞を受賞した実績があり、そのノウハウを活かして「天草天領」ブランドとして選定した魚種の品質管理手法を徹底させるとともに、出荷箱へのブランド名の記載、パンフレットの同封による全国への PR や販売を展開し、魚価の向上を図る。</p> <p>④漁協は、イスズミやモチウオ等の未利用魚を使用した加工品を製造販売し、魚価向上を図る。</p> <p>3 所得向上対策</p> <p>①漁協、アオサ養殖業者及び岩ガキ養殖業者は、新規養殖業者の参入、漁場の拡大を推進し、生産量の増加を図る。</p> <p>②漁協は、現在行っている通信販売や富岡港の直販所での販売を強化し、さらにインターネット通販による販売を推進する。</p>
<p>漁業コスト削減の為の取組</p>	<p>以下の取組により漁業コストを基準年から 3%削減させる。</p> <p>①燃油の急騰による漁業コストの圧迫に備えるため、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。</p> <p>②漁業者全員が定期的に船底清掃を行い、燃料消費を節減する。</p> <p>③水揚中などの船舶係留中は機関を停止し、燃油消費を抑える。</p>
<p>活用する支援処置等</p>	<p>漁業経営セーフティネット構築事業、水産多面的機能発揮対策事業 産地水産業強化支援事業</p>

4年目（平成30年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>以下の取組により漁業収入を基準年から4%向上させる。</p> <p>1 藻場再生、資源管理対策</p> <p>①漁協及び潜水組合は、ミルやトサカ等の海藻をスポアバック法により育成し、ウニ等の餌にもなる藻場の約1,000㎡の造成に努める。</p> <p>②漁協及び潜水組合は、アカウニ種苗5万個を放流し、併せて産卵期に禁漁期間を設定し、アカウニ資源の増加を図る。</p> <p>③漁協及びえびこぎ網漁業者は、クルマエビ種苗10万尾を放流し、クルマエビ資源の増加を図る。</p> <p>④全刺網漁業者は、自主的に漁具の網目を10.6mm以上にして、小型魚の保護を行い資源の増加を図る。</p> <p>2 魚価向上対策</p> <p>①漁協及び漁業者は、ウニ・緋扇貝・岩カキ・アオサ等について、殺菌海水による浄化や異物除去等の衛生管理を徹底して、ブランド力強化及び魚価向上を図る。</p> <p>②漁協は、地元商店と連携して、安く販売している小魚を利用したすり身商品を本格的に販売し、魚価向上を図る。</p> <p>③漁協及び一本釣組合は、ブランドアジ「天草天領あじ」の取組みで全国漁業者交流大会において農林水産大臣賞を受賞した実績があり、そのノウハウを活かして「天草天領」ブランドとして選定した魚種の品質管理手法を徹底させるとともに、出荷箱へのブランド名の記載、パンフレットの同封による全国へのPRや販売を展開し、魚価の向上を図る。</p> <p>④漁協は、イスズミやモチウオ等の未利用魚を使用した加工品を製造販売し、魚価向上を図る。</p> <p>3 所得向上対策</p> <p>①漁協、アオサ養殖業者及び岩ガキ養殖業者は、新規養殖業者の参入、漁場の拡大を推進し、生産量の増加を図る。</p> <p>②漁協は、現在行っている通信販売や富岡港の直販所での販売を強化し、さらにインターネット通販による販売を推進する。</p> <p>③漁協は、直営の浜焼き小屋を設置し、地元で水揚げされた水産物を利用することで所得の向上を図る。</p>
<p>漁業コスト削減の取組</p>	<p>以下の取組により漁業コストを基準年から4%削減させる。</p> <p>①燃油の急騰による漁業コストの圧迫に備えるため、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。</p> <p>②漁業者全員が定期的に船底清掃を行い、燃料消費を節減する。</p>

	③水揚中などの船舶係留中は機関を停止し、燃油消費を抑える。
活用する支援処 置等	漁業経営セーフティネット構築事業、水産多面的機能発揮対策事業 産地水産業強化支援事業

5年目（平成31年度）

漁業収入向上の ための取組	<p>以下の取組により漁業収入を基準年から5%向上させる。</p> <p>1 藻場再生、資源管理対策</p> <p>①漁協及び潜水組合は、ミルやトサカ等の海藻をスポアバック法により育成し、ウニ等の餌にもなる藻場の約1,000㎡の造成に努める。</p> <p>②漁協及び潜水組合は、アカウニ種苗5万個を放流し、併せて産卵期に禁漁期間を設定し、アカウニ資源の増加を図る。</p> <p>③漁協及びえびこぎ網漁業者は、クルマエビ種苗10万尾を放流し、クルマエビ資源の増加を図る。</p> <p>④全刺網漁業者は、自主的に漁具の網目を10.6mm以上にして、小型魚の保護を行い資源の増加を図る。</p> <p>2 魚価向上対策</p> <p>①漁協及び漁業者は、ウニ・緋扇貝・岩カキ・アオサ等について、殺菌海水による浄化や異物除去等の衛生管理を徹底して、ブランド力強化及び魚価向上を図る。</p> <p>②漁協は、地元商店と連携して、安く販売している小魚を利用したすり身商品を本格的に販売し、魚価向上を図る。</p> <p>③漁協及び一本釣組合は、ブランドアジ「天草天領あじ」の取組みで全国漁業者交流大会において農林水産大臣賞を受賞した実績があり、そのノウハウを活かして「天草天領」ブランドとして選定した魚種の品質管理手法を徹底させるとともに、出荷箱へのブランド名の記載、パンフレットの同封による全国へのPRや販売を展開し、魚価の向上を図る。</p> <p>④漁協は、イスズミやモチウオ等の未利用魚を使用した加工品を製造販売し、魚価向上を図る。</p> <p>3 所得向上対策</p> <p>①漁協、アオサ養殖業者及び岩ガキ養殖業者は、新規養殖業者の参入、漁場の拡大を推進し、生産量の増加を図る。</p> <p>②漁協は、現在行っている通信販売や富岡港の直販所での販売を強化し、さらにインターネット通販による販売を推進する。</p> <p>③漁協は、直営の浜焼き小屋を設置し、地元で水揚げされた水産物を利用することで所得の向上を図る。</p>
------------------	---

漁業コスト削減の為の取組	以下の取組により漁業コストを基準年から5%削減させる。 ①燃油の高騰による漁業コストの圧迫に備えるため、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。 ②漁業者全員が定期的に船底清掃を行い、燃料消費を節減する。 ③水揚中などの船舶係留中は機関を停止し、燃油消費を抑える。
活用する支援処置等	漁業経営セーフティネット構築事業、水産多面的機能発揮対策事業 産地水産業強化支援事業

(4) 関係機関との連帯

再生委員会事務局の天草漁協苓北支所を中心に、メンバーである苓北町と熊本県天草広域本部水産課と連帯し、所得向上に努め各漁業種代表と成果について検討を行う

4 目標

(1) 数値目標

(千円)

漁業所得の向上 %以上	基準年	平成	年度：漁業所得
	目標年	平成	年度：漁業所得

(2) 上記の算出方法及び妥当性

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
漁業経営セーフティネット構築事業	燃油費の高騰による影響を緩和
水産多面的機能発揮対策事業	ウニ駆除、藻場造成
産地水産業強化支援事業	漁協直営施設整備